

平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	社会福祉原論B(Principles of Social Welfare B)	授業コード	E022551
担当教員名	河村 裕次		
配当学年	2	開講期	後期
必修・選択区分	選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件	社会福祉士国家試験受験希望者は必修科目となっています。 社会福祉原論Aを履修した後、本講義を履修することをお勧めします。		
受講心得	見ること、聞くこと、真剣に考えること、そして、自分の意見を持つことを心がけてください。		
教科書			
参考文献及び指定図書	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー『社会福祉原論』へるす出版 岩田正美ほか『社会福祉の原理と思想』有斐閣 武川正吾『福祉社会』有斐閣 坂田周一『社会福祉政策』有斐閣		
関連科目	高齢者福祉論, 障害者福祉論, 児童福祉論, 地域福祉論, 社会保障論, 公的扶助論		

授業の目的	福祉政策の理念・原理・歴史について理解を深め、福祉ニーズと資源の関係を考察し、現代社会にはどのような社会問題が福祉と関係してくるのかを考えます。
授業の概要	「社会福祉士及び介護福祉士法」の改正に伴って、従来の「社会福祉原論」に代わって、新たに「現代社会と福祉」という科目が設けられました。科目名こそ従来のままとはいえ、本科目は「現代社会と福祉」のシラバスにしたがって行われます。「現代社会と福祉」は社会政策、とりわけ福祉政策の原理的問題に重きが置かれています。従来よりも理論的色彩の濃いものとなっています。また貧困、社会的孤立、自殺、虐待などといった社会問題と福祉政策がどのようにかかわるのかについて、深い理解が求められています。日頃から社会問題について強い関心を懐くことが必要です。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：オリエンテーション・社会福祉原論Aの振り返り 本講義の目的および到達目標等について説明します。 社会福祉原論Aの講義内容の振り返りを行います。	配布資料
第2週：需要とニーズの概念 社会福祉におけるニーズの概念と、一般的に用いられる需要概念の違いについて整理するとともに、福祉ニーズの定義や内容、分類及び把握の方法等について説明します。	配布資料 小テスト
第3週：福祉政策の課題と国際比較 今日の社会福祉においては、自国の福祉政策だけではなく、グローバルスタンダードとしての福祉政策をも追及していくことが求められています。そのような中で先進国と新興国および途上国の福祉政策を見ていくことにより、国際社会における福祉政策の課題について考えていきます。	配布資料 小テスト
第4週：福祉政策の論点 福祉政策の論点として、「パターンリズムと自己選択」、「参加とエンパワメント」、「ジェンダー」等を取り上げ、福祉が持つ諸問題とその展望について説明します。	配布資料 小テスト
第5週：福祉政策における政府の役割 福祉政策における政府の役割は、歴史的に大きく変化してきました。その変遷の様子をたどりながら、現在から将来に当たって政府が果たす役割について考えていきます。	配布資料 小テスト
第6週：福祉政策における市場の役割 今日の社会福祉では、少子高齢化や福祉ニーズの多様化、福祉財政の逼迫、規制緩和を受け、市場供給によるシルバーサービスなどの福祉産業が台頭してきています。シルバーサービスの定義と現状、今後の展開について考えていきます。	配布資料 小テスト
第7週：福祉政策における国民の役割	

福祉増進ためには、国民の参加・参画が必須のもであり、わが国でのこれまでの国民の役割についてみていくことにより、今後の国民が果たしていくべき役割について考えていきます。		配布資料 小テスト
第8週：福祉政策にの手法、政策決定過程と政策評価 政策がどのような手法をもって具体化され、その決定過程や評価がどのようにすすめられているのかについて、政策の手法を概観し、決定のプロセスと評価の方法について説明します。		配布資料 小テスト
第9週：福祉供給部門 社会福祉の資源供給機能に着目し、人々の社会的ニーズが充足されていく過程を、4つに類型化(公共部門、市場部門、ボランティア部門、インフォーマル部門)に分け、各部門の特徴や発展過程、介護サービス供給における部門別構成比の現状等について説明します。		配布資料 小テスト
第10週：福祉供給過程 福祉サービスが歴史的にどのように供給されてきたのかをもとに、供給過程の公私関係について説明します。		配布資料 小テスト
第11週：福祉利用過程 福祉サービスの利用方式として、①措置方式、②保育所方式、③介護保険方式、④自立支援給付方式を取り上げ、各利用方式の特徴について説明します。		配布資料 小テスト
第12週：福祉政策と教育政策 福祉と教育がどのような場面でつながっているのかについて、福祉教育や特別支援学校の取り組みをもとに考えていきます。		配布資料 小テスト
第13週：福祉政策と住宅政策 人々が地域社会で質の高い生活を送るためには、住環境の整備が必要不可欠です。厚生労働や国土交通省において展開されている政策をもとに、住環境整備の現状と課題について考えていきます。		配布資料 小テスト
第14週：福祉政策と労働政策 労働政策の編成によって、福祉政策の目的や内容が変化をもとに、労働政策の現状と課題について考えていきます。		配布資料 小テスト
第15週：相談援助活動と福祉政策の関係 福祉供給の政策過程がどのように実施過程に結びついているのか、福祉供給部門における相談援助活動の果たす役割について説明します。		配布資料 小テスト
第16週：期末試験 論述式(90分)の試験を実施します。 ※出題方法等に変更の場合があります。期末試験の詳細は第15週目にお伝えします。		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考	講義内容については、進行状況等により変更する場合があります。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	福祉政策の構成要素を理解している。 福祉政策と関連政策の関係について理解している
【技能・表現・コミュニケーション】	福祉政策におけるニーズと資源について説明することができる。 相談援助活動と福祉政策との関係について説明することができる。
【思考・判断・創造】	福祉制度の課題について考察することができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	50点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	25点			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	25点			
(「人間力」について) ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	